

第107回 全国書道誌上コンクール出品要項

左記のとおり毛筆コンクール作品を募集します。奮ってご応募下さい。

◆一般部（高校生以上）

一、出品区分 一科審査会員

二科審査会員（師範）
無鑑査（教範）

一 科（書範）準四段

二 科（三段）準初段

三 科（一級）新人

※出品区分は、一月号の成績を基準とする。

※本会の毛筆部に出品していない場合は、所属団体での段級、資格または書歴を明記の上、該当する区分に出品すること。

一、作品寸法

《一科審査会員一科》

条幅半切縦（136 cm × 35 cm）

《二科・三科》※次ページ参照

条幅半切縦（136 cm × 35 cm）または
条幅半切二分の一縦（68 cm × 35 cm）

※小さい作品を貼り合わせたものは不可

一、作品内容 漢字・かな・調和体

※一般部は、作品に出品票を必ず貼付し、必要事項を記入した出品申込書と一緒に出品料を添え出品すること。（必要な書類は、一月号送本時に予め各支局・支部に送付する。個人会員は本部事務局まで請求のこと）

◆教育部（中学生・小学生・幼年）

一、課題 自由。ただし書初めにふさわしい語句。（一月月例課題参考）

※中・二・三の書体は行書に限る。

※十二月の検定試験の会友合格者は「会友で」出品すること。

※出品区分は、一月号の成績を基準とする。

一、用紙 条幅半切四分の一（68 cm × 17.5 cm）

一、出品料（二点につき）

●一般部 一科審査会員 四、八〇〇円

二月末日までに本部事務局へ申込むこと。
（詳細は、支部長または本部まで）

●表装料（税込み・送料別）

条幅半切・半切二分の一

五、〇〇〇円より

A～Eまで五種類あります。

半切四分の一

F、紙表装

G、綿表装

一、五〇〇円
二、八〇〇円

※月例競書出品作品は、審査の過程で印をつけることがありますので、表装はできません。

一、会長賞受賞者の特典

●教育部で六段以下の受賞者は一段階昇格を認める。

●現在小五年生以上で、幼年から通算して三回受賞した場合は会友を認定する。

※いずれも発表月から昇格する。

一、特別昇級の特典

一般部・教育部とも毛筆部一級以下の出品者は、全員一階級特進を認めます。

一、その他

○作品はすべて未発表のものに限る。

○一人何点出品してもよいが、特別賞受賞は一人一点とする。

○コンクール作品と月例競書を兼ねる事はできないので、それぞれに出品すること。

○一般部は、出品区分別・寸法別に審査の上、各上位入賞者については、昇格制度に基づき、昇格、昇段級する。（内規に定める）

○出品料は為替小為替にして作品と同封し書留で送るか現金書留による送金に限る。

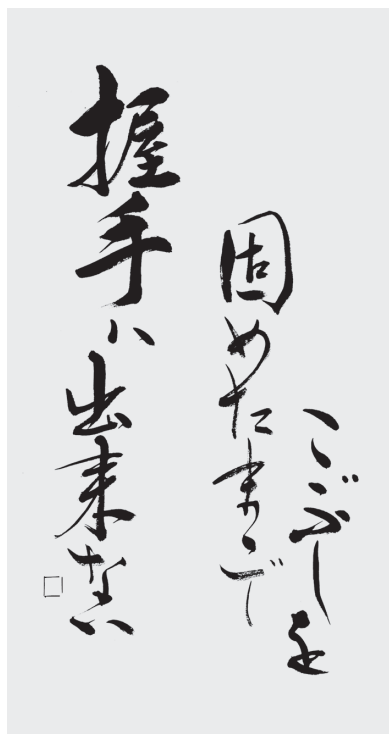
（振替、その他は不可）

○成績は、本誌4月号に発表するほか、各団体別に通知し、賞品・賞状は4月号送本時に同封する。

二科・三科参考手本（半切2分の1サイズ用）

▶二科・三科は、半切2分の1サイズまたは半切のどちらかで出品して下さい。課題は自由ですが、半切2分の1サイズを選択した場合、下掲の参考手本によりご出品いただくこともできます。

こぶしを固めたままで握手は出来ない



須田一葉書

東風洪染す万家の春



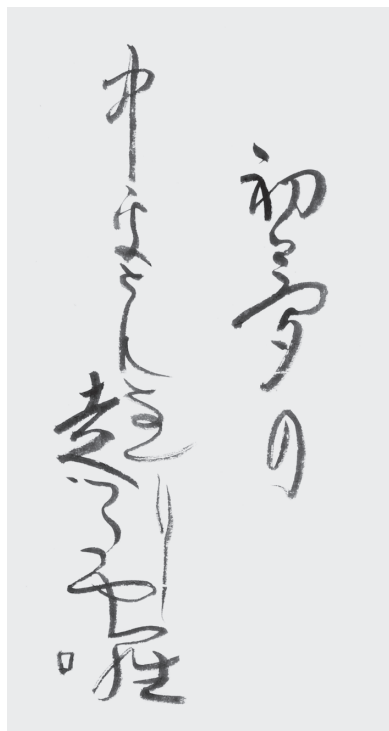
清水翠芳書

石門柳緑なり清明の市
洞口桃は紅なり上巳の山



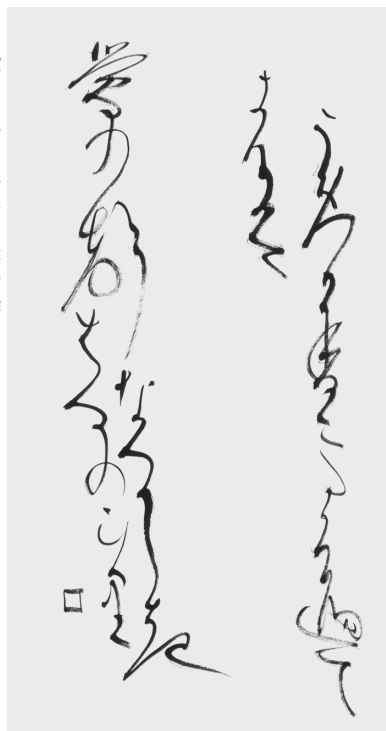
新井龍峰書

初夢の中をどんなに走つたやら
(飯島晴子)



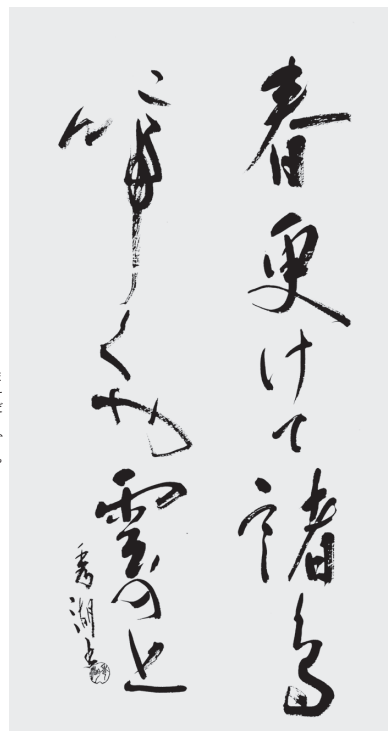
田中貴光書

梅が香にたぐへて聞けば鶯の
声なつかしき春の山里
(山家集)



築瀬舟香書

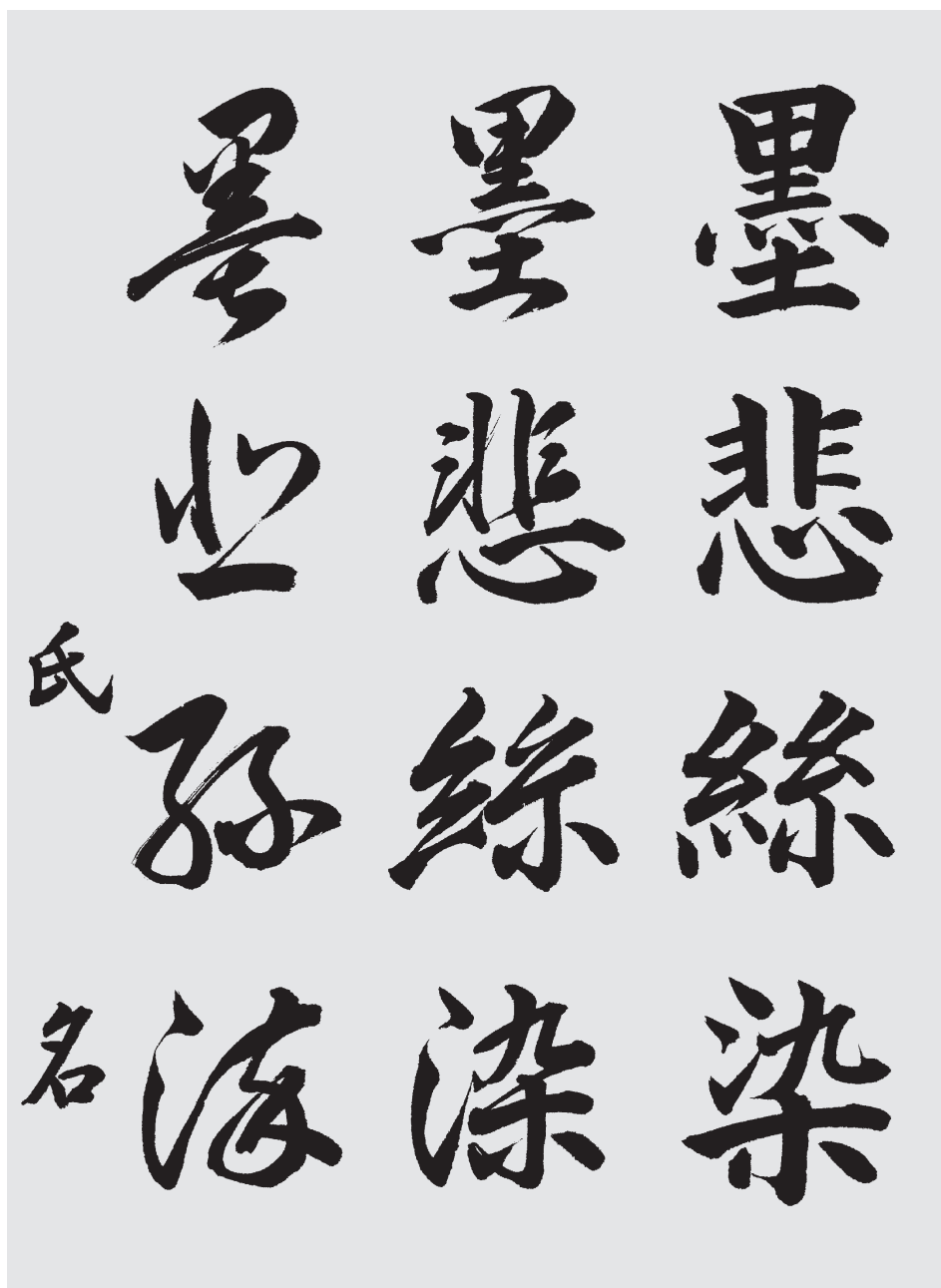
春更けて諸鳥啼くや雲の上
(前田普羅)



大迫秀湖書

三体千字文を書く(49)

締切り 一月二十三日(必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部Ⅱ半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六

(一九八二)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。原点に返って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二―五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

墨 悲 絲 染

詩 讚 羔 羊

墨子という賢人は白い絲の悪く染みやすいのを悲しんだ。

詩経では羊毛の純一なことをたたえている。

一般部規定課題

締切り 1月23日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

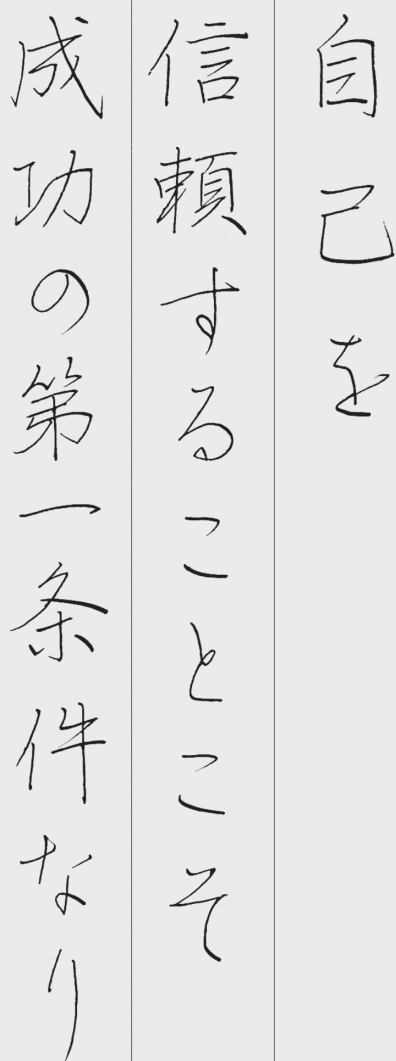
〔解説〕

〔解説〕

〔読み〕自己を 信頼することこそ 成功の第一条件なり



▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。



お 尾 郷 翠 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

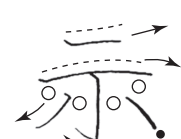
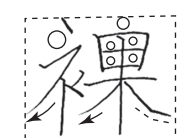
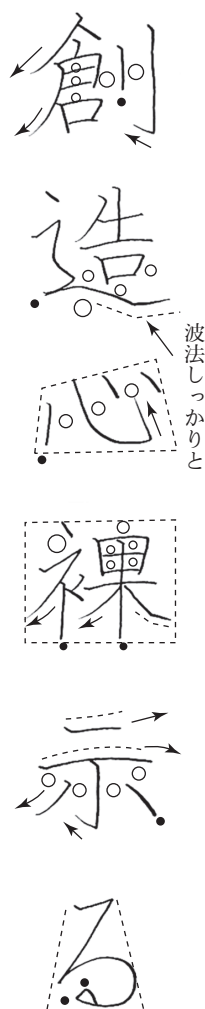
▷用紙=本会段位用紙

示	心	創
す	の	造
こ	裸	と
と	を	は
で		
あ		
る		

ふる 古 田 瑞 苑 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙



★創造とは：(書体Ⅱ楷書)

安芸静馬

与えられた仕事を完璧に仕上げるには、熱意と努力もさることながら心を裸にして打ちこまなければ、いい成果を上げることができないでしょう。熱意と努力は誰でも持つことができますが、心を裸にして打ちこむことは、誰にでもできることではありません。仕事には誠意が問われますが、誠意とは、つまり心が裸になっているかどうか、です。心が裸になっているとわかる時、完全性が認められるのです。

◆2月課題予告(行書)

幸福は

一夜おくれで来る

太宰 治

★自己を：(書体Ⅱ行書)

ラミューズ(一八七八〜一九四七)

スイスの小説家

自分を信頼するということは、自身に自信を持つことです。

自分という存在にあやふやな考えしか抱いていないと問題は解決しません。あるいは、間違った部分があるかもしれないと思ってもそれが最終的な間違いではないと信じる時には決断を下すべきです。

自分の欠陥を意識しては自己否定になり、自分の存在に疑いを生じます。自己信頼イコール成功という同等的考えを頭に入れ、毎日を送りたいものです。

◆2月課題予告(行草または草書)

もし生涯の

第二版があるなら

私は校正をしたい

▼教範・書範Ⅱ行書

▼師範Ⅱ楷書

準初段から六段まで

新入から1級まで

手毬唄かなしきことをうつくしく

手毬てまり唄うたかなしかなききことことををううつつくくしくしく
志東川(州)久久

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

た なか き こう
田 中 貴 光 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

た なか き こう
田 中 貴 光 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

てまりうた
手毬唄かなしきことをうつくしく

（高浜虚子）
たかはまきよし

〔句解〕手毬をつく音とともに手毬唄を歌う声が聞こえる。聞いているとその歌は悲しい内容の歌である。その悲しい話が美しい手毬唄になり、春着を着た女の子によって美しく歌われている。

【鑑賞】「かなしきことを」といったのは「阿波あわの遍路の墓あはれ」といったのと同じく、小説家虚子の想像力が、一基の墓や、手毬唄の片言隻語（へんげんご）から豊かなドラマを生み出すからである。俳句作者としてだけでなく、小説家として、また、深い味わいをもつ写生文作家としても成功した虚子の資質を思わせる句である。

〔古筆参考〕

志士あり

東と
东
ぢ
ぢ
ぢ
ぢ

登と
お
し
し
う

有う
乃
乃
乃

徒っ
しち
しち
しち
しち

〔解説〕 級の方も一作品になるよう、一文字ずつ丁寧に書いて下さい。

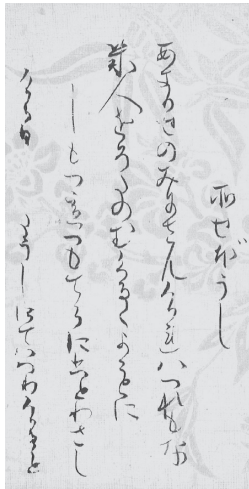
◆2月課題予告

鶉ひよどりのそれきり鳴かず雪の暮くれ

（うすだあろう）
白田亜浪

〔古筆参考〕

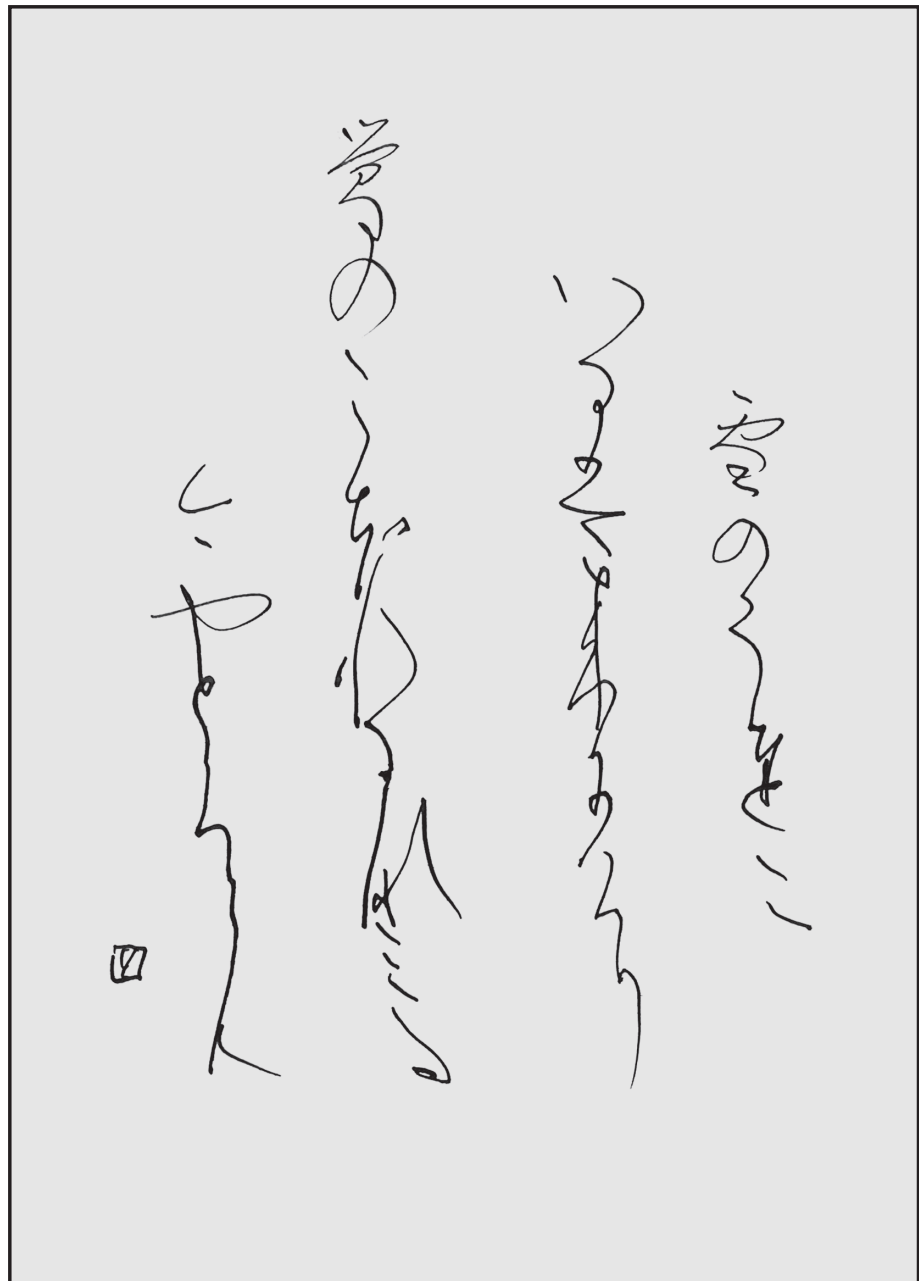
ほん あ み ぎれ
本阿弥切



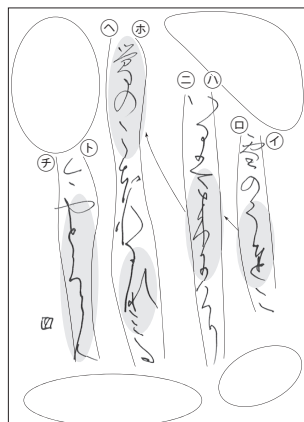
所 せせいほうし
あきかぜのみにさむければつれもな
き人をぞたのむくるゝよごとに
しもついつもでらにひとわざし
ける日、だうしにていへりけること

締切り 一月二十三日（必着）

築瀬舟香書



〔解説〕



〔解説〕

〔出典〕 古今和歌集
（新潮日本古典集成）

雪のうちに春は来にけり鶯の
こほれるなみだ今やとくらん
〔歌意〕 雪が残って景色はまだ冬のままなのに、暦の上では春になった。山深く冬に堪えていた鶯の涙は寒さに凍っていたが、今はそれもとけて、まもなく美しい声で鳴きはじめることだろう。

◆2月課題予告

君がため春の野に出でて若菜つむ
わが衣手に雪はふりつつ

締切り 1 月 23 日(必着)

新年を迎え、先生にはお健やかに
お過ごしのことと存じます。さて
今年から硬筆に加えて毛筆も
ご指導をお願いしたく存じます。
重ねがさね勝手を申し上げますが、
よろしくお願い申し上げます。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

新年を迎え、先生にはお健やかに
お過ごしのことと存じます。さて
今年から硬筆に加えて毛筆も
ご指導をお願いしたく存じます。
重ねがさね勝手を申し上げますが、
よろしくお願い申し上げます。

横 書 き 課 題

おか じま けい せん 書
岡 嶋 桂 川

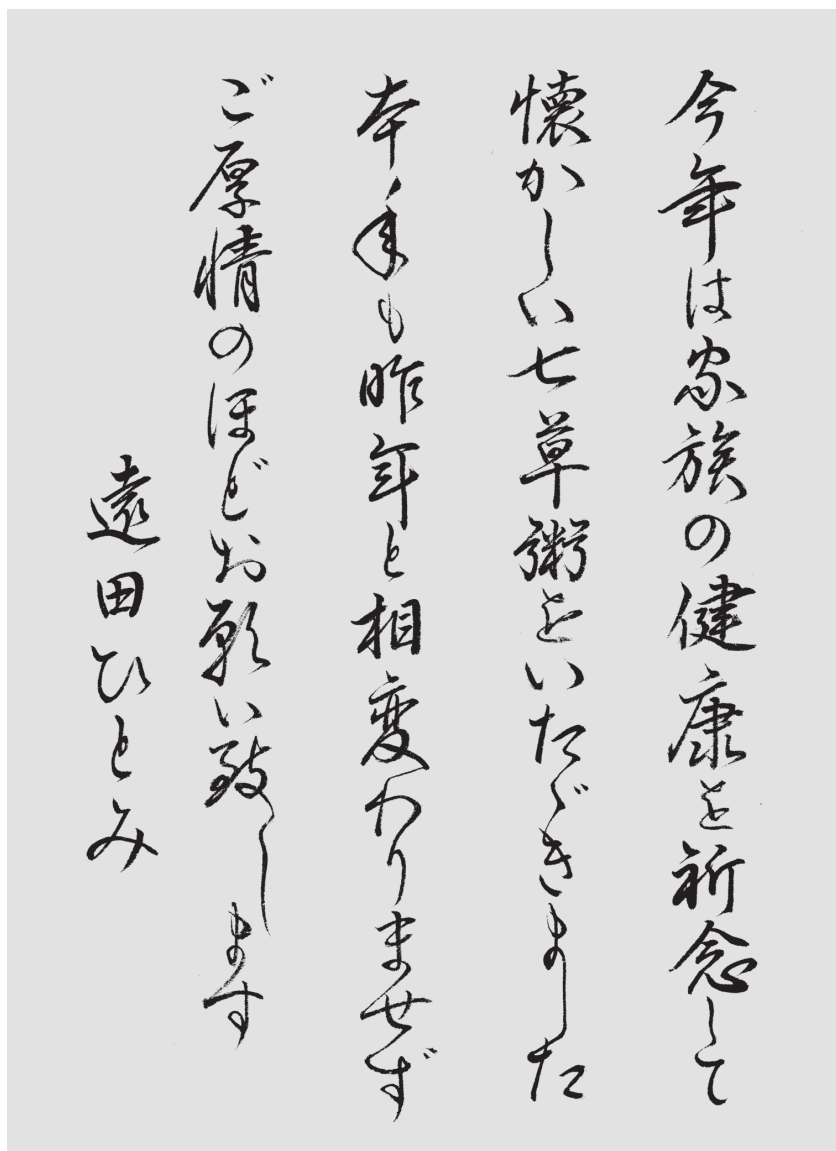
レントゲンは、X線の発見により
ノーベル物理学賞を受賞した。

埼玉県所沢市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 香 梅 藤 伊



新庭 松桂 香

締切り 一月二十三日 (必着) 半切 (一二六cm × 三五cm)

新井 龍峰 書

- 〔条幅解説〕
- 今月は一行書(五文字)ですので、少し大きめの筆を用意しましょう。字面上、大小の変化を加えにくいので、墨量の変化にとどめました。一字目と四字目です。本文を書き終えたら、そのまま同じ筆で氏名まで書く習慣をつけたいものです。
- ・ 今年に家族の健康を祈念して
懐かしい七草粥をいただきます
・ 本年も昨年と相変わりませす
・ ご厚情のほどお願い致します
() 自分の氏名
・ 印で墨つぎしました。
- 〔条幅・細字作品の出し方〕
- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
 - 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
 - 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔大意〕初春の庭に松や桂が緑ゆかしくにおわんばかりである。
初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

新入から1級まで(楷書)

清水翠芳書

松間照
新月

しょうかんしんげつかがやく
松間照新月

〔大意〕青々たる松の間に三日月がきらきら輝いている。

〔解説〕

松 照 月
新 間

◆2月課題予告(行書)

山峰染
月寒

準初段から師範まで

須田一葉臨

十二月二十九

十二月二十九



〔解説〕

〔出典〕孔子廟堂碑（六二六～六三三）

〔筆者〕虞世南（五五八～六三八）

〔読み〕（武徳九年）十二月二十九（日）

十二月二十九

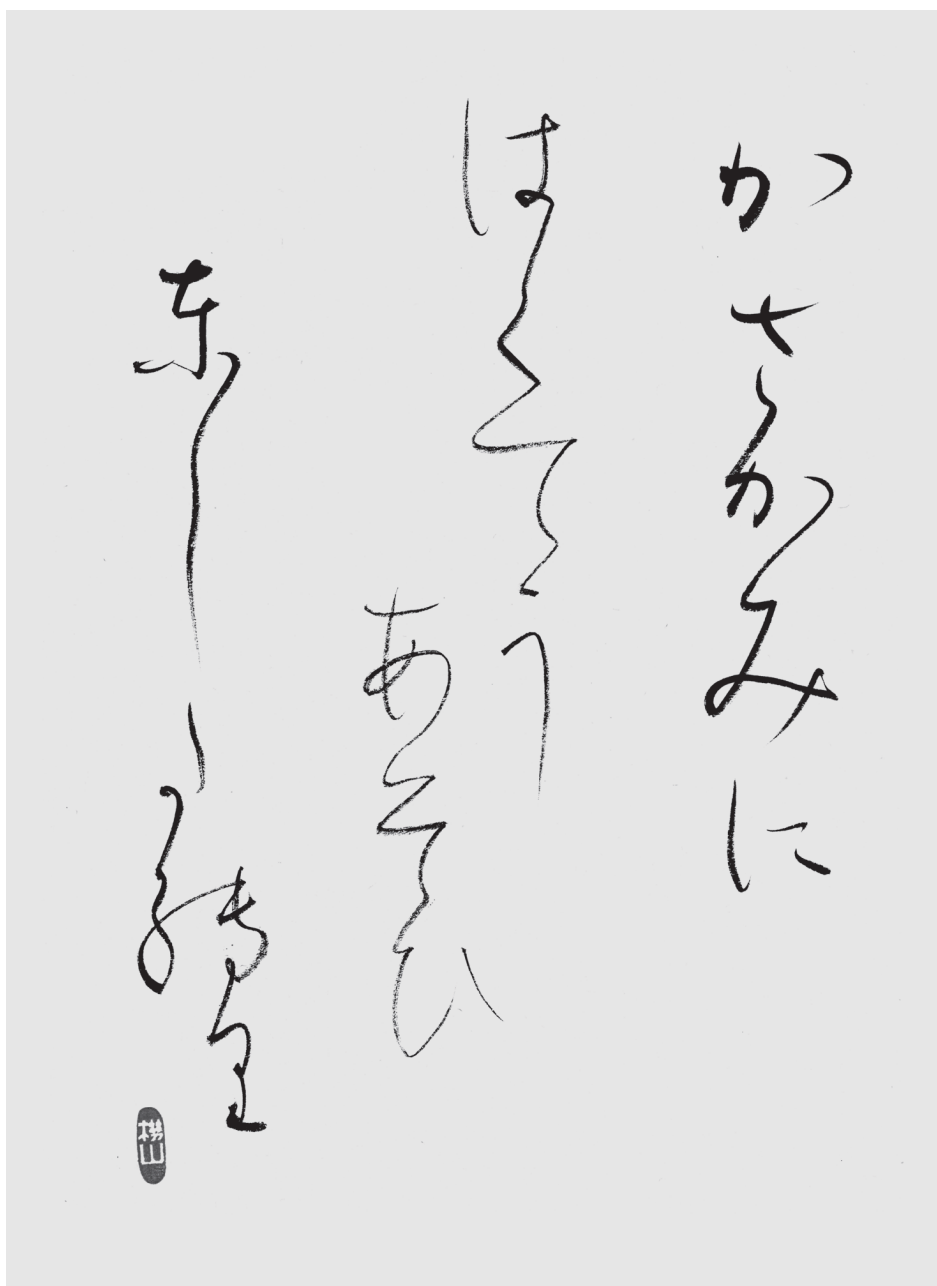
※文献によって字体が異なる場合があります。

◆2月課題予告

綜括宏遠奥旨

新入から1級まで

浅井機山先生書



かきかみはあそび年立ち

宮津昭彦

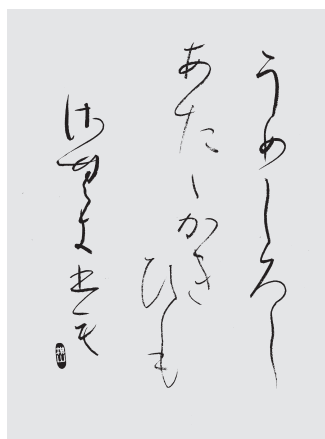
〔句意〕

新年を迎えた厳肅な気持ちで湖の岸边に立つと、風が吹きわたって来る。見るとその方角に白鳥がゆったりと優雅に浮いている。新年の淑気のある句。

〔古筆参考〕

東と 多た 轉て 里り
 东东东东 多々多々 转转转转 里里里里

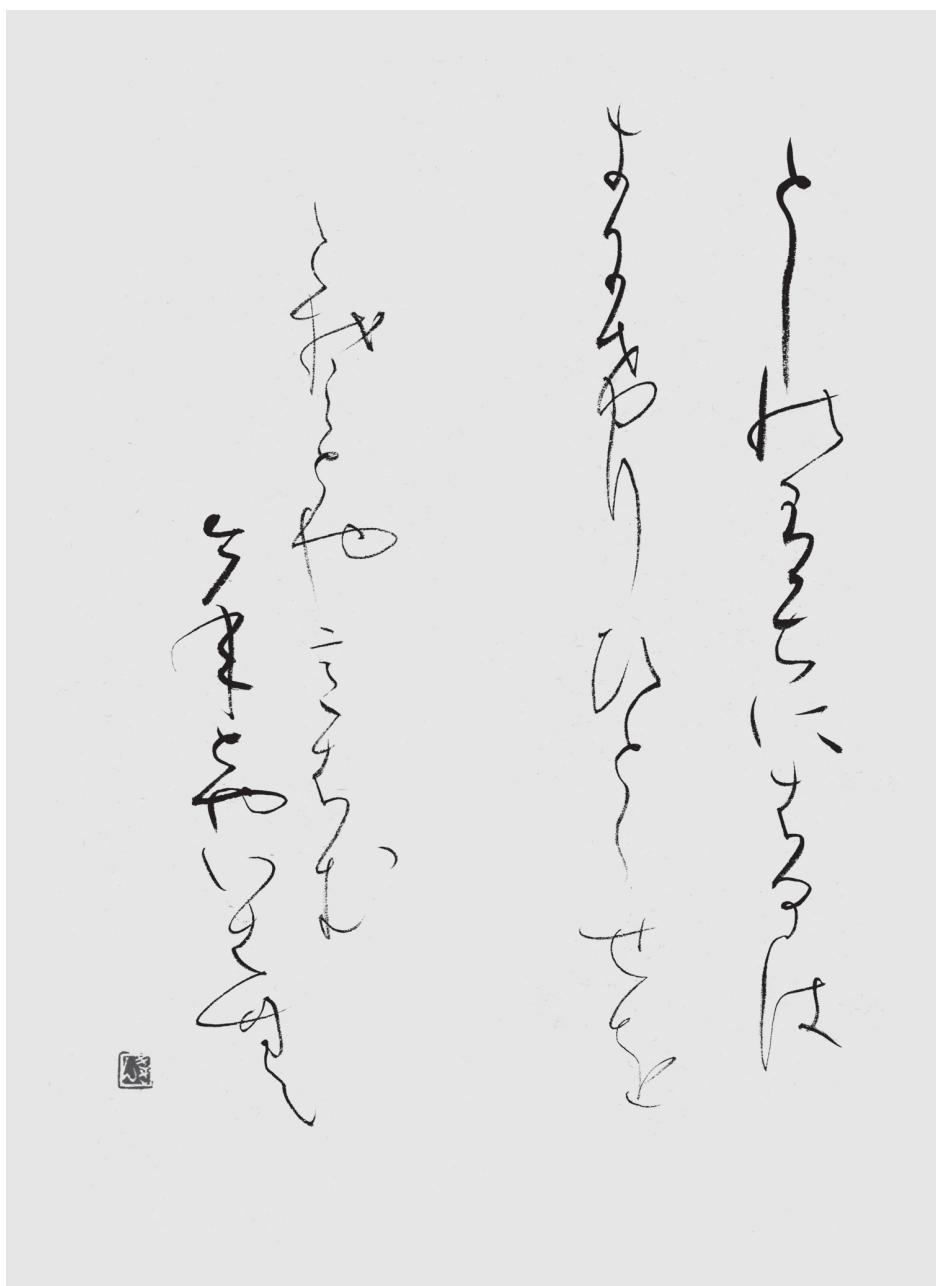
◆2月課題予告



梅白し 暖かき日も寒き日も

準初段から師範まで

浅井機山先生書



とし能有
年のうちに春は来にけり一年を

こ楚
去年とやいはむ今年とやいはむ

ありわらのもとかた
在原元方

〔歌意〕

年内に立春の日が訪れてきたことだ。この
一年を、立春を迎えたからには去年といっ
たものか、今年すなわち新年といったもの
か。

〔古筆参考〕

能の

能の能の能の

有う

有う有う有う

支き

支き支き支き

希け

希け希け希け

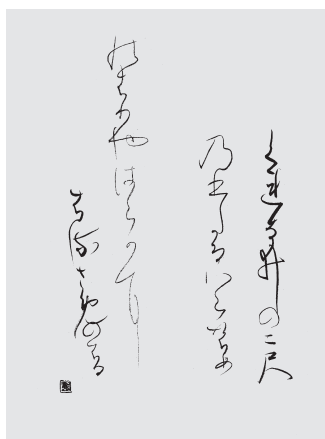
意い

意い意い意い

無む

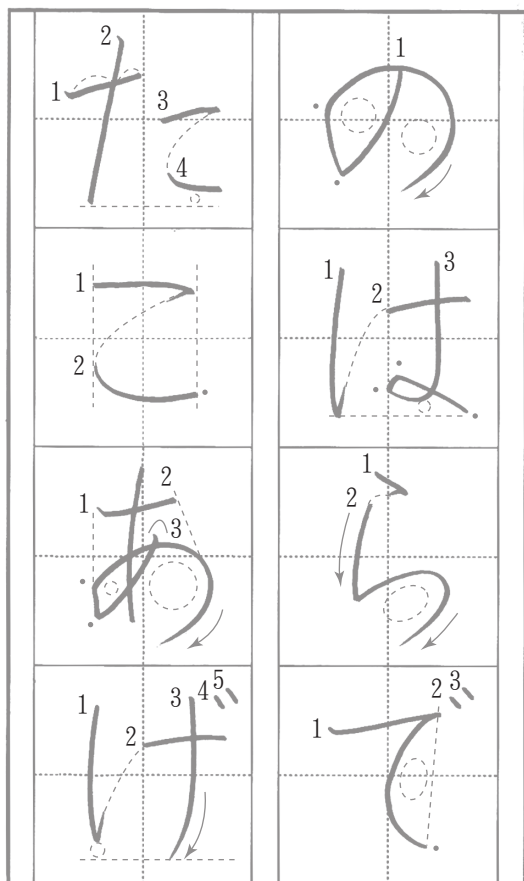
無む無む無む

◆2月課題予告



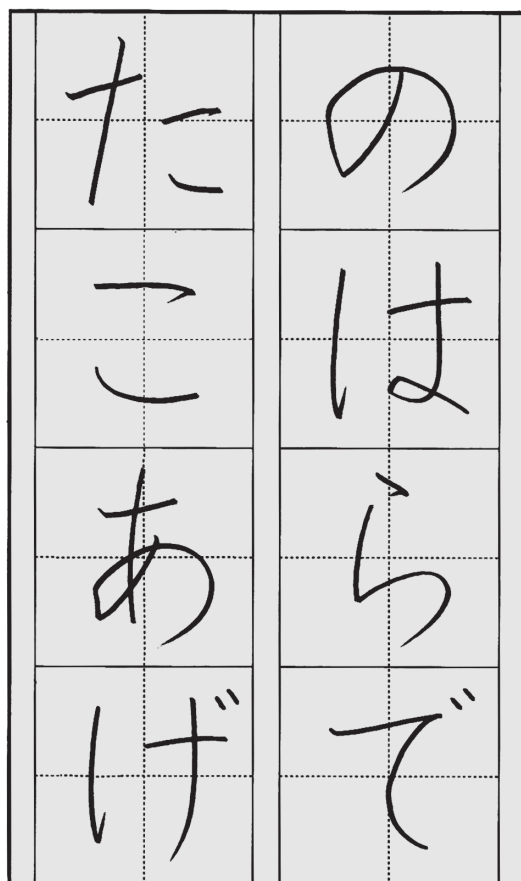
くれなるの二尺伸びたる薔薇の芽の
針やはらかにはるさめの降る

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



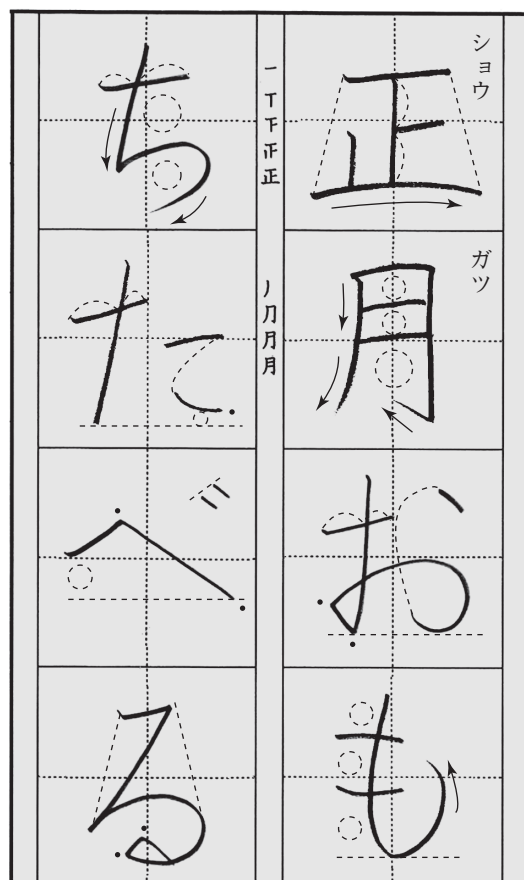
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

幼年～小三年まで
三宅容玉書



新入～1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準
初
段
以
上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

く	今 いま
生 い	こ
き	そ
る	強 つよ

ノハム今
ノルナ生
テテ強強強強

新入〜1級

し	生	今
め	き	こ
そ	る	そ
う	力	強
よ	を	く

小二年
準初段以上

な	晴 は
気 キ	れ
持 も	や
ち	か

日日月晴晴晴
ノルナ気気
オオ持持持持

新入〜1級

な	に	光
気	晴	る
持	れ	日
ち	や	の
だ	か	出

小三年
準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由 (黒色に限る)

照	朝
は	日
す	の
雪	光

新入 1 級

※景色 Ⅱ 単語としてこのように読みます。

色	照	朝
は	ら	日
美	す	の
し	雪	光
い	景	が

小 四 年

準初段以上

小四年以上
前 嶋 玉 華 書

年	心
願	豊
元	幸
日	多

解説 (よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

と	多	心
願	き	豊
う	一	か
元	年	で
日	を	幸

小 五 年

(全員)

解説(よく見て習いましょう)

ギン 銀	よる 夜
いろ 色	ひ(える) 冷
ゆき 雪	ふ(り) 降
	つ(もる) 積

ギン 銀 いろ 色 ゆき 雪

よる 夜 ひ(える) 冷 ふ(り) 降 つ(もる) 積

自由(黒色に限る)

小六年

る	て	夜
銀	降	か
色	り	ら
の	積	冷
雪	も	え

(全員)

中二・三年 (行書)

精	な	逆
神	い	境
を	不	に
養	屈	負
う	の	け

中一年 (楷書)

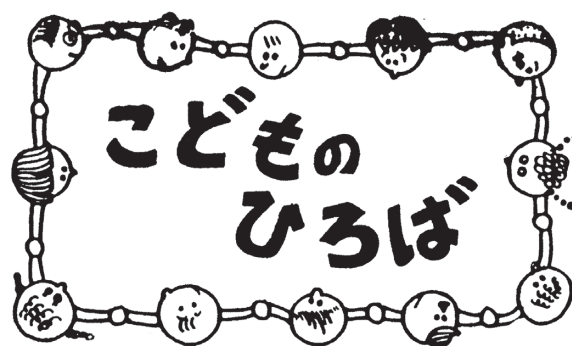
立	を	自
ち	強	分
向	く	の
か	持	意
う	ち	志

▼小三年以下の課題 なが い や え こ 長 井 八重子 書

書 か	元 げん	太 ふと	大 おお	お
き	気 き	い	き	正 しょう
ぞ	い	筆 ふで	な	月 がつ
め	っ	を	紙 かみ	に
を	ぱ	使 つか	と	
し	い	い		
ま				
す				



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 1月23日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 よこ やま ゆう れん 横 山 友 漣 書

景 け	染 そ	集 しゅう	合 がっ	冬 ふゆ
色 しき	ま	落 らく	掌 しょう	の
が	り	が	造 つく	白 しろ
広 ひろ	幻 げん	雪 ゆき	り	川 かわ
が	想 そう	で	の	郷 ごう
る	的 てき	白 しろ		は
	な	く		



◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



小 二 年

小 一 年

よ う 年

小
ニ
生
き
る

さか い とも こ
酒 井 智 仔 書

小
一
お
も
ち

さか い とも こ
酒 井 智 仔 書

さ
い
た
こ

さか い とも こ
酒 井 智 仔 書

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm × 17.5cm)に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

小 五 年

小 四 年

小 三 年

小五 幸多き年

みず の へき ゆう
水 野 碧 友 書

小四 朝日の光

みず の へき ゆう
水 野 碧 友 書

小三 晴れやか

みず の へき ゆう
水 野 碧 友 書

注：コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm × 17.5cm)に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

中二・三年

中 一 年

小 六 年

不屈の精神

中二・三

なが たに けい こ
永 谷 恵 子 書

意志を強く

中一

なが たに けい こ
永 谷 恵 子 書

銀色の雪

小六

なが たに けい こ
永 谷 恵 子 書

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm × 17.5cm) に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。